

令和2年度第1回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和2年6月30日(火) 午後2時から午後3時50分

2 開催場所 浜松市役所 5階51会議室

3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海
	中区社会福祉課	飯塚 康敬
		佐藤 真輝
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	玉木 祐次郎
	東区社会福祉課	久野 加津夫
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一郎
	西区社会福祉課	安間 俊弘
	南区社会福祉課	内藤 淳
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	本宮 早奈映
	北区社会福祉課	梶田 和彦
浜北・天竜エリア連絡会	浜北・天竜障がい者相談支援センター	今田 将晴
	浜北区社会福祉課	島田 佐栄実
	天竜区社会福祉課	内山 敦子
	相談支援事業所シグナル	尾関 ゆかり
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛
		山下 由佳
		松井 亮
		岸 直樹
		永田 貴裕
	障害保健福祉課	生活支援第2グループ
山内 愛美		

4 議事内容

- (1) 専門部会報告
- (2) エリア連絡会体制等情報共有
- (3) その他

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活支援第2グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) 専門部会報告（資料1を元に説明）

相談支援部会 計画相談ワーキング

- ・本ワーキングはR1.10南区自立支援連絡会から課題提案があったことから設置。
- ・計画相談38事業所に対して実態調査を実施。回収率100%
- ・人材不足、法人の考えから障がい児相談に対応しないとの回答が多く、現状では相談の事業所や相談員を増やすことは難しい現状が見えてきた。
- ・計画相談からは「委託相談との連携の仕方がわからない」との意見があり、役割分担の必要が感じられた。
- ・本ワーキングでは、計画相談の裾野の拡充、適正なサービス量支給のためのケースを見立てる支援等について提案をしていきたい。提案事項については、新たなワーキング立ち上げて検討をしていってほしい。

<意見>

- ・ワーキングの提案票は、計画相談等にも説明をしてもらえるのか。
- ⇒提案票がまとまれば、関係機関に説明をしたいと考えている。

地域生活部会 こどもワーキング

- ・昨年度こども専門部会で作成していたアセスメントツールを相談支援専門員、サービス事業所等の障がい児に関わっている人をワーキングメンバーとし、現場からの意見を取り入れながらツールの検討を進めている。

<意見>

- ・区社会福祉課では申請時に聞き取りを行っているので、その状況も含めて内容を検討できると良いのではないか。
- ・相談員としては、ツールでアセスメントをしたとしても、受け手のサービス事業所（児童発達支援、放課後等デイサービス）が見つけれないというジレンマがある。児童発達支援や放課後等デイサービスにも啓発をしていってほしい。

権利擁護部会

- ・虐待に関するワーキングの立ち上げを調整中。次回企画会議において説明ができるように進めていきたい。
- ・災害時の要支援者の把握と制度周知についてのワーキング立ち上げをしていきたい。

<意見>

- ・障がい者の虐待に関しては進行管理の場がない。そのため、終結にあたっての振り返りもできていない。
- ・18歳以降のケースについては、途切れない支援のために児童相談所や家庭児童相談室とのケース引継ぎについて検討をしていく方がよい。
- ・個別ケースの対応検証はやっていく必要がある。流れを整理、振り返りは必要。その際は、第三者（SV）を含めてやっていく必要があるのではないか。
- ・災害に関するワーキングは、地域生活部会において立ち上げるべきではないか。

□今後の市専門部会スケジュールについて

- ・計画相談ワーキングが終了したら、昨年度より当事者部会から課題としてあげられていた委託相談に関する評価のワーキングを立ち上げる予定。次回企画会議にて報告し、了承が得られればワーキングを進める。

(2) エリア連絡会体制等情報共有（資料2を元に各エリアより説明）

【中エリア連絡会】

- ・連絡会テーマ：「つながる暮らし 共に生きよう このまちで」
⇒過ごしやすいまちづくりを目指す。
- ・全体会メンバーの任期は3年とし、企画会議に提案できるような課題をあげていきたい。
- ・部会は、人財部会、啓発部会、地域課題検討部会の3つ
- ・ネットワーク会議を開催し、事業所同士のつながりを作っていく。

【東エリア連絡会】

- ・連絡会テーマ：向こう3軒 両隣 つながり広がる東区に ⇒支え合い
- ・部会は、短期型課題検討部会を設置。集中して課題について検討していく。
- ・ネットワーク会議を年1回以上開催し、連絡会説明や報告会をしていく。

【西・南エリア連絡会】

- ・西区と南区が昨年度まで行っていた良い取り組みを取り入れながら、ネットワーク作りを大切に活動していきたい。
- ・部会は、こども部会、相談支援部会は西南合同で行っていくが、西区で行っていた事例検討部会、南区で行っていた地区部会は、特徴的な取り組みなのでそれぞれの区で活動を続けていく方針。
- ・ネットワーク会議は、報告と交流の場とする。
- ・第1回全体会は、新型コロナの関係から書面会議の予定。

【北エリア連絡会】

- ・連絡会テーマ：ずっと北区で暮らしたい
- ・全体会は部会等の報告会も兼ねている。
- ・部会は、北区を知ろう部会、事例検討部会、こども部会の3つを設置。

【浜北・天竜エリア連絡会】

- ・課題解決できる体制づくりをしていきたいと考えている。困難事例のケース検討から地域課題を見つける取り組みを行っていく。
- ・浜北と天竜は地域性が違いすぎるため、地域ごとに課題解決ができるようにそれぞれの区に改題解決に関する部会を設置している。

(3) その他

- ・教育のエリア部会への参加について
(事務局より)

- ・昨年度の調整会議での意見を元に校長会、教育委員会と調整をして参加を依頼している。エリアから代表校へ連絡をいれてもらい、今後の活動予定について説明してもらいたい。エリアで行われる研修会についても、エリアから各学校へ周知可能。
- ・市にこどもワーキングがあるので、エリアにはその受け手となる部会やワーキングの設置をお願いしたい。

<連絡事項>

- ・次回企画会議は、8月17日(月)10時～
- ・当事者部会 8月11日(火)の予定